

しずおか

神道青年会



第12回こども参宮団

目次

一、会長挨拶「勇往邁進」	……………	一ページ
一、天皇皇后両陛下奉迎行事報告	……………	二ページ
一、新事業案内	……………	二ページ
・ 第一回「鎮守の杜」写真 コンテストについて	……………	二ページ
一、全国並びに各地区の活動	……………	二ページ
・ 第十二回こども参宮団	……………	三ページ
・ お宮と子供たち	……………	三ページ
・ 県内一泊研修会	……………	四ページ
・ 大寒禊	……………	四ページ
・ 県外一泊研修会	……………	五ページ
・ 北マリアナ諸島慰霊顕彰事業	……………	五ページ
・ 神青協五十五周年記念大会	……………	六ページ
・ 東海地区教化研修会	……………	六ページ
一、神職身分二級昇進者の御紹介・会員動静	……………	七ページ

勇往邁進

会 長

来宮神社 雨宮盛克



東海地区協議会の事務局を務めさせて頂いております故、会員は東海地区にとどまらず全国の同志とも懇親を深めつつ交友を広げ、種々研鑽を積むことの出来た有意義な一年であったと確信をしております。

この七月より新年度となりますが、畏くも本年四月には次期式年遷宮の御聴許を賜り、国民総意のもと御遷宮に向けて躍進するべく、今こそ日本国民としての誇り、麗しき御国の伝統と民族意識の高揚を掲げ、世界の尖兵であるが故に挑戦できる積極果敢な活動を展開してゆく必要があります。

未だ混迷する教育界、御国御祖を敬う心が失われつつある剣呑な社会思想、日本固有の伝統文化と信仰が衰退し、歯止めが利かなくなつてゆく昨今、この国情を打開するには、我々の活動や影響力はあまりにも非力であるかもしれせん。

しかし、今後の我国を担う我ら世代が、切迫した国情を捉え、民族の

蒙を啓き、自らを高める研鑽を積み、具眼の士となり、揺るぎなき国風を示してゆかなければなりません。会員各々がこの現状に危機感を抱き、何が必要で何が効果的なのか、模索しながらも理非曲直を明らかにし、我々に出来得るささやかなことでも、

勇気をもって一歩踏み出し、懸命に打ち進む『勇往邁進』の精神と失敗を恐れず果敢に挑む実践が、粒々辛苦のすえ、人を動かし、いつか同志一顧の大河となり、一層強大な力となつて、本来あるべき御国の隆盛という大願に繋がってゆくものと信じております。

今期神道青年全国協議会にも理事として出向をさせて頂いております故、今後とも全国の同志と情報を交換し、当会の活動に反映させてゆきたいと考えております。

また、先輩諸兄が培われ、継続されてきた事業はもとより、新事業として、県内の各社氏子が参加する神

目的とした『県内神社風景写真展』の開催や、当会の活動を広報しつつ、円滑な組織の運営を図るべくホームページの開設などの計画も進めております。

『勇往邁進』の精神と行動で新事業にも挑戦し、会員各々の強い連帯感を培いつつ、伝統ある当会の歩みに軌跡を刻む一年とするべく、努めて参る所存でございます。

今後共当会活動に更なるご理解とご協力をお願い申し上げます、新年度を迎え一言ご挨拶とさせて頂きます。



若葉芽吹き風の薫る季節となり、伝統ある静岡県神道青年会の会長という重責を担い、早一年の月日が流れました。先輩諸兄におかれましては常日頃より、当会に対し深いご理解とお力添えを頂いておりますことを衷心より厚く御礼を申し上げます。また会員各位には御社頭の奉務と共に、当会の活動に対し積極的な参加を頂いておりますことを御礼申し上げます。

この一年、当会執行部を始め、各委員会、会員が活発な事業を展開し、微力ながらも努力を重ねて参りました。また昨年より二年間、神道青年

天皇皇后両陛下奉迎行事報告

去る平成十五年十月二十四日、天皇皇后両陛下には第五十八回国民体育大会「New!!わかふじ国体」開会式御臨席の為、静岡県に行幸啓遊ばされた。

浜松に御宿泊ということもあり、浜松商工会議所などと協力して御奉迎の行事として提灯行列を企画。当日は薄曇りの天候にもかかわらず、集合場所となった五社公園内には五千人もの参加者が集まった。行事に先だつて執り行われた出発式を終えた参加者一同は午後五時半、提灯に灯をともし、奉迎の横断幕を先頭に五社公園を出発。「天皇陛下、皇后陛下、万歳」の声も高らかに、市内中心部を行進し行在所にほど近い小学校運動場に集結した。



横断幕を先頭に市内を行進

そして辺りがすっかり暗くなった午後六時四十五分、両陛下には、行在所であるグランドホテルの窓から提灯を振って御答礼になられ、参加者の聖寿の万歳が浜松の夜空に高らかに響き渡った。

静岡県神道青年会主催

第1回「鎮守の社」写真コンテストについて

此の度、神道青年会では、静岡県神社庁・富士写真フイルム株式会社・静岡新聞社・静岡放送に後援頂き、「神社のある風景」をテーマにコンテスト及び写真展を開催する運びとなりました。

これは、県内の神社で撮影された写真をご応募頂き、審査・表彰、展示会を開くことにより、県内の神社を一般の方々に知って頂き、参拝者を誘致する目的で企画されたものです。審査は、当会会員・富士写真フイルム株式会社によって行われます。

左記により募集しておりますので、会員はもとより、氏子崇敬者や参拝にこられた方々にもご周知の上、募集券、お声がけ下さいます様お願い致します。

テーマ 「神社のある風景」(神殿・祭事・自然など)

サイズ プリント4切・ワイド4切

発表表 ・平成17年2月上旬

・入賞者に直接通知します。

応募上のきま

- ・静岡県内の神社で撮影されたものに限りです。
- ・作品は未発表で過去1年間に撮影されたものに限りです。
- ・作品の裏側に応募票(自作可)を必ず貼付して下さい。

応募上の注意

- ・人物が被写体の場合は、本人の承諾を得てから応募して下さい。
- ・応募作品の返却は致しません。
- ・入賞作品の著作権は主催者に帰属し、ネガ及びポジ・デジカメの場合はデータを提出して頂きます。

締切り 平成16年9月末日必着

入賞作品の展示

平成17年3月30日静岡県神社関係者大会にあわせ静岡市民文化会館2階ギャラリーにて展示。又、県内神社にて展示予定。

応募・問合せ先

静岡市袖木250-2 静岡県神社庁 内
静岡県神道青年会

いづも参宮団報告

井伊谷宮 宮田 信裕

本年度第十二回を迎えることも参宮団が八月六日・七日の二日間、県神社庁副庁長藤野義夫団長のもと、神道青年会会員をはじめ九十七名の参加を頂き開催実施された。

初日は台風十号の接近により天候も心配されたが、早朝より東中西各地より三台のバスに分乗した子供たちが、午前八時四十分頃浜名湖サービスイリアに集結し、直ちに結団式を行った。車中にて昼食を済ませ、午後一時三十分には志摩スベイン村に到着。初対面の子供同士も打ち解けあい、約三時間、班毎に様々な乗り物やアトラクションを楽しんだ。夕刻、宿泊所である神宮会館に入り、部屋割り・連絡事項などの伝達の後、各自一旦部屋に入り荷物を置き、食前食後の作法を声も大きく感謝の心を込めて唱え、楽しい夕食となった。レクリエーションの時間には、青年会員の指導のもと、禊の練

習を行った。

翌七日は午前六時に起床、五十鈴川に向い一心に禊行事を行い、清き流れに心身ともに清められた。前日の練習時には初めての鳥船行事もぎこちなかったが、声も大きくしつかりと行えた。朝食後、午前八時半には神宮へと出発。神域の清しい空気の中、参道の玉砂利を一步一步内宮に参進し、神楽殿にてお神楽の奉納、陽光に輝く内宮御正殿を拝した。こうした得難い経験をした子供たちは自ら体得した貴い感覚を心深く受けとめて、一步成長したように思う。内宮参拝後は、班毎におかげ横丁を散策し、家族へのお土産などを選



五十鈴川で禊行事

び、二日間の感想文を作成し、昼食後伊勢を出発、鳥羽よりフェリーにて伊良湖へ渡り、恋路が浜にて解団式を行い、団長より子供たちに修了

書が渡され、バスに乗り込み無事帰路についた。

お宮と子供たち

大歳神社 野中 一樹

去る平成十五年八月二十一日、浜名郡舞阪町において西部地区神道青年会主催の「お宮と子供たち」が開催された。

子供たちにお宮の空気に触れ、また屋外での活動をしてもらうことを目的に開催されるこの行事も今年で六回目を迎え、冷夏ということでも候が心配されたが当日は好天にも恵まれ、四十四名の児童他保護者、青年会員など多数が出席した。

参加者達は先ず舞阪町の岐佐神社にて開講式を執り行い、玉串拝礼の作法などの説明を受け、正式参拝を行った。神職よりお祓いを受けた



楽しい潮干狩り

後、実際に各々が玉串を神前に奉奠した。

正式参拝の後は同町内の渚園に移動し、バーベキュー、潮干狩りを楽しんだ。

「貝がたくさん採れた。水が冷たくて気持ちがいい。」
青空の下、子供たちは久々の夏の日を楽しんだようだった。

県内一泊研修会

in 浜松

丸子神社 浅間神社
清水 大輔

日時 平成十六年

五月二十四日・二十五日

場所 浜松市内

会員引率による「こども参宮団」等の行事はもとより、奉務神社において、また地域の一員として役立つ教養の習得を狙いとして、西部地区担当の下、浜松消防署員による救命講習を行った。



心臓マッサージの実技講習

死亡確率は、心臓停止から三分間で五十パーセント、呼吸停止の場合には十分間で五十パーセント。しかし実際に救急車が到着するまでの平均時間は六分といわれ、いかにその場での救命手当てが重要であるかを知り、人工呼吸、心臓マッサージの実技に移る。適正な救命措置の習得は想像以上に難しく参加者一同真剣な眼差しで取組んだ。



海岸清掃の成果は…

翌日は中田島砂丘に場所を移し、福祉育成委員会の行事として海岸清掃を行った。日本有数の砂丘であると共に、アカウミガメの産卵地としても知られるこの地は、心無い観光客や海からの漂着物で汚されており、僅かな時間の清掃にもかかわらず、

砂丘を後にする会員の手には幾つもの大きなゴミ袋が提げられていた。今回の救命研修に参加した会員がその技術を活用する時が来ない事を望むが、万一の有事に際し、迅速且つ適正な対応で世間に貢献出来る事を期待したい。

大寒 禊

秋葉山本宮秋葉神社 内山穂澄

今年の一月二十一日は、大寒であった。暦の上では、一年で最も寒いとされる日であるが、今年も例年通り大寒禊が行なわれた。午前七時、気温二度、水温六度の天竜川において、私を含め三十名の青年会員が禊をし、罪穢を祓った。

禊をする前は、寒さで震えが止まらないが鳥船行事が始まるとだんだんと気合いが入り震えが止まって来る。そして、水の中に入る準備ができるのだ。それでも、水の中は肌を



刺すように痛い。しかし、大祓詞を唱えようと気持ち落ち着き寒さや痛みが消えて、禊が終わるととても清々しい気持ちになる。来年も、禊にぜひ参加したい。

県外一泊研修会

in 大阪

久能山東照宮 後藤正一

平成十六年二月二十六日・二十七日と二日間に亘り、県外一泊研修会が神青協中央研修会と兼ね十九名の参加を得、大阪の地で開催された。

第一日目、会場はホテルニューオータニ大阪、大会参加者は過去最多ともいえる四八四名を数え、研修テーマは「伝統文化の力」→「伝統芸能とその継承」と掲げ幕を開けた。

開講式につづき、第一講「上方の文化と芸能」と題し、司会・映画解説者で有名な浜村淳先生に講演いただいた。先生の口調は想像通りで、土地の神さまと人とのつながりに始まり、映画・芸能の話までアツという間に時が過ぎた。

第二講「上方落語」では、人間国宝の桂米朝先生・御子息の小米朝先生に講演頂き、落語界の巨匠の寄席も拝聴した。落語(寄席)の始まりは神社の境内であったこと、米朝先生の祖父・父も神主であったこと、参

拝者との会話のつかみの話等興味深く伺った。これにて一日目の講義は無事終了し、懇親会に入った。

懇親会場では、久しぶりに顔を合わせる先輩や後輩に笑顔の絶える事はなかったが、それ以上に大阪ブレスによるショーも大好評でユーモアある地域性を感じた。懇親会終了後は更に懇親を深めるべく、歴史ある食いだおれの街、大阪を楽しんだ。

二日目、第三講は「文楽」と題し、人形師の吉田文吾先生・大夫の豊竹呂勢大夫先生・三味線の竹澤宗助先生に講演頂いた。私も文楽の世界への造詣は皆無に等しく、人形に命を吹き込み、仕草や音の強弱によって喜怒哀楽を表現し、一つの物語を築いていく伝統の難しさを学んだ。この第三講を以って全ての講義は終了し、レポート作成後閉講式を行い、中央研修会は幕を閉じた。



「文楽」を間近に見て



大阪天満宮にて

昼食後は大阪天満宮にて正式参拝を行った。天満宮は季節柄梅まつりの最中で、御祭神道真公の最初の詩歌が梅花であり、生涯を通じて梅を愛好されたことが現在のまつりに反映されており、参拝者で賑わいを見せていた。樹齢百年以上の盆栽の梅を始め、茶席や境内を一時間程案内して頂き、記念撮影の後帰路に着いた。私たち神職は神と人とを結ぶ橋渡し役であることは云うまでもない。しかし人の心を神に伝えられても、神からの声を伝えられているのか改めて考えさせられた。今後は些細なことでも構わず参拝者に声を掛け、話をすることによって得られるコミュニケーションの必要性を強く感じ、そこから生れる感受性によって伝統・文化の継承につながる手がかりをこの研修会で学んだ。

平成十五年度 北マリアナ諸島 慰霊顕彰事業

平成十六年三月八日より、長野県神道青年会の企画、神道青年東海地区協議会の協力による「平成十五年度 大東亜戦争戦跡 北マリアナ諸島慰霊顕彰事業 南洋の島に散華されし命を訪ねて明日の日本のために……サイバンテニアン島四日間の旅」が開催されました。

当会からは会長が参加し、長野県神道青年会関係者三十名、愛知県神道青年会より二名の総勢三十三名の参列のもと、天仁央神社に参拝し、テニアン島のスーサイドクリフにて厳かに慰霊祭が斎行されました。今年、新たに鳥居が建立され、献水台、神籬座台などが設置されるとともに、愛知県神道青年会から奉納された伯犬一対の序幕式も行われ、一層厳かな斎場整備となりました。参加者一同、改めて英霊に感謝の意を捧げ、世界平和を祈ることの出来た有意義な顕彰事業と成りました。

神青協 五十五周年記念大会

五社神社
諏訪神社
美濃 孝昭

平成十六年四月二十二日、東京の明治記念館にて神道青年全国協議会創立五十五周年記念大会が、高円宮妃久子殿下の御臨席を仰ぎ開催されました。

式典では開会儀礼、会長式辞、周年事業経過報告のち記念表彰がおこなわれ、当県より前年度東海地区指名理事として出向されていた池野浩司先輩が、在任中の功績により表彰を受けられました。続いて高円宮妃久子殿下よりお言葉があり、妃殿



お言葉を述べられる高円宮妃殿下



会長式辞

下は高円宮殿下が神青協の活動について「同じ世代の一人として大変頼もしく思うとおっしゃっていた」と思い出を語られ、我々の活動に対して深い御理解を示され、「広い視野に立った活動を期待します」と述べられました。

東海地区教化研修会

大井神社
市川 登志雄

去る、平成十五年九月十日・十一日の両日に亘り、神道青年東海地区協議会教化研修会が九十余名の参加者の下、岐阜市のホテルパークに於いて開催されました。

「技」を継ぐ者をテーマとし、岐阜護国神社正式参拝終了後、長良川の鶴飼について岐阜市のシルバーク観光協会会長の後藤太計氏より講義をうけ、引き続き元鶴匠の杉山健二氏による実演。懇親会が行われた観

第二部の記念講演は、アサヒビール(株)名誉顧問の中條高德先生が「日本の心」の演題にて行われました。日露戦争の偉大さ、当時の日本人の気高さを語り、現在の日本の姿勢、現状を指摘され、正しい歴史観を身に付け使命感を持って活動してほしいと述べられ、身につまされる思い

であり、温かい叱咤激励であったように感じる講演でした。今回の記念大会には全国より約五百名の会員が集いました。私も初めてこのような大会に参加させて戴きましたが、機会があれば是非理事・会員の方々も参加して全国の活動に理解を深めてみては如何でしょうか。

覧船からは、実際の鶴飼を見学しました。

金華山と山頂にそびえる岐阜城を背景に、漆黒の闇の中、赤々と燃える篝火を川面に映し川を下りながら、鶴匠と鶴が一体となって繰り広げる古典漁法「鶴飼」は千三百年の伝統を持ち、用具は一式百二十二点、国の重要有形民俗文化財。又、その漁法は岐阜市重要無形民俗文化財にされており、鶴匠は代々世襲。明治二十三年からは、式部職という地位が宮内省(現宮内庁)から与えられ、技・文化を今に継承しています。今回の研修会を通して、「鶴飼」が技や文化の伝承、観光振興に大きく寄与し、地域と一体となって築いてきたものは、我々も見習う所が多かったと思えました。

祝神職身分二級昇進

平成十六年二月一日付

静岡支部
別雷神社 宮司

苦竹 泰秀様

志太支部
栄田神社 宮司

神谷 裕昭様

小笠支部
事任八幡宮 宮司

譽田 秀之様

浜松支部
八幡神社 宮司

石津 眞澄様

浜松支部
三社神社 宮司

土屋 邦仁様

会員動静(順不同)

★ 新入会員

狩野 優子

大仁神社 権禰宜
平成十五年四月一日

田方支部 静岡県

田代 雅子

浅間神社 禰宜
平成十六年四月一日

駿東支部 静岡県

勝又 啓

浅間神社 権禰宜
平成十六年四月一日

駿東支部 静岡県

長尾 健仁

神部神社・浅間神社・
大歳御祖神社 権禰宜
平成十六年二月一日

静岡支部 大阪府

須田 晃央

神部神社・浅間神社・
大歳御祖神社 出仕
平成十六年四月一日

静岡支部 神奈川県

華園 奨

久能山東照宮 出仕
平成十六年四月一日

静岡支部 北海道

森 朋洋

大井神社 出仕
平成十六年四月一日

志太支部 静岡県

★ 結婚

三嶋大社

近藤 亘・哉子 夫妻
平成十五年九月十四日挙式

富士浅間宮

増井順久・ひな枝 夫妻
平成十五年十一月七日挙式

平成十六年度活動計画

八月十・十一日

・第十三回こども参宮団

十二月

・臨時総会

一月 下旬

・新年初集会

二月 上旬

・北方領土返還広報活動

三月二十三・二十四日

・県外一泊研修会(予定)

三月三十日

・静岡県神社関係者大会

・第一回「鎮守の杜」写真コンテ
スト入賞作品展

五月

・県内一泊研修会(予定)

六月 下旬

・総会

発行所 静岡県神道青年会
静岡市柚木二五〇ノ二
静岡県神社庁内
印刷所 三島印刷